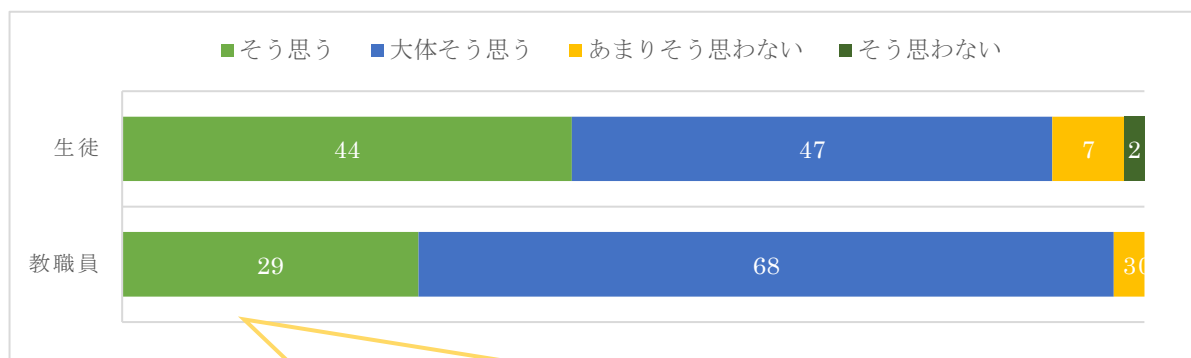


令和3年度 生徒・保護者・教職員アンケート（後期）結果分析

※生徒アンケート（10月）・保護者アンケート（12月）・教職員アンケート（10月）との比較をしました。

生徒 「学校で授業を受けることは有意義だと思う。」

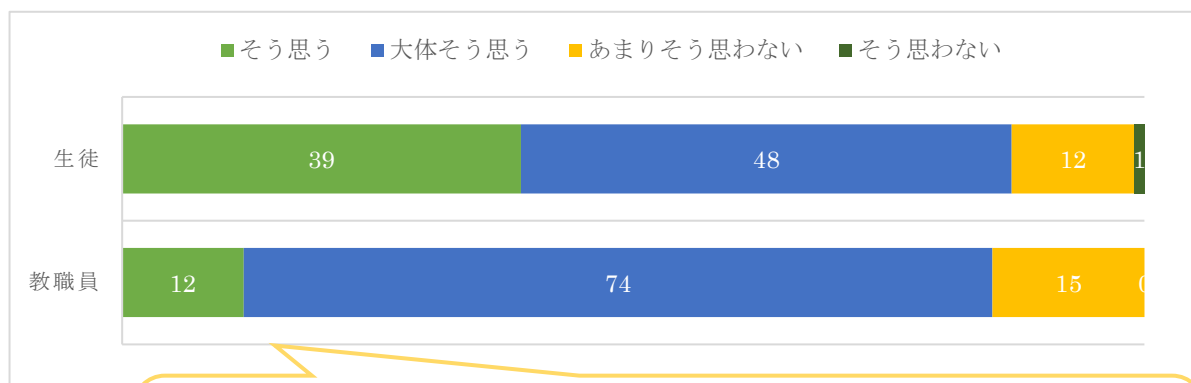
教職員 「生徒は『学校で授業を受けることは有意義である』と感じている。」



学校が期待する以上に、積極的に授業に臨んでいる生徒が多いという頼もしい結果となりました。「そう思わない」生徒の皆さんの存在にもしっかり目を向けて、さらに授業改善に取り組みたいです。

生徒 「学校の授業は楽しい。」

教職員 「生徒は『学校の授業は楽しい』と感じている。」

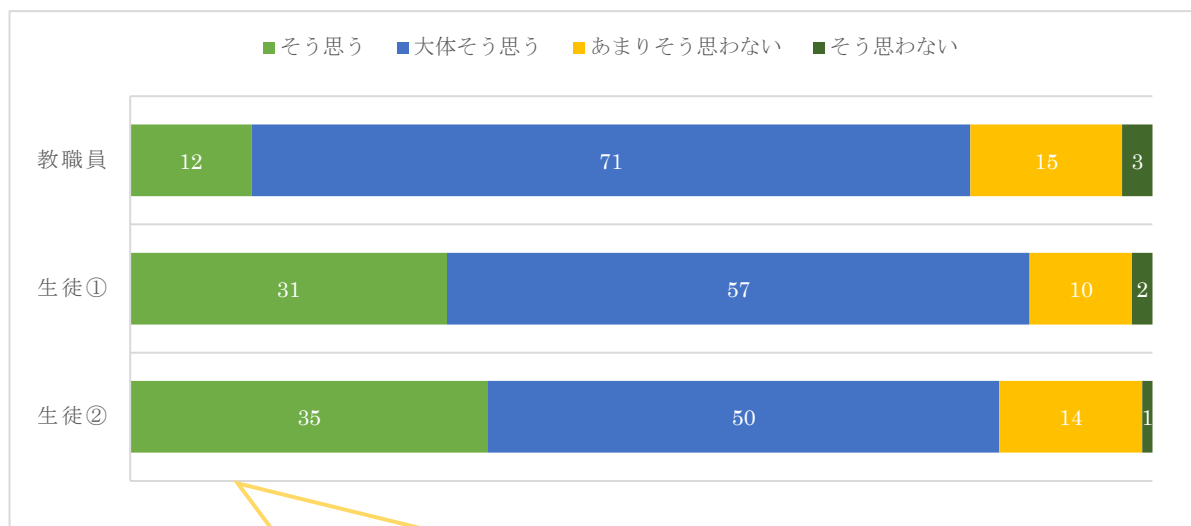


85%以上の生徒の皆さんが、授業は楽しいと感じてくれています。「そう思わない」人も楽しく学べる工夫や、より効果的な支援の仕方について、今後も研修を重ねたいと思っています。

教職員「昨年度と比べてカリキュラム・マネジメントを意識している。」

生徒①「学校の授業はわかりやすい。」

生徒②「学んだ知識を関連付けて、自分の理解や考えを深めたり創造したりできている。」

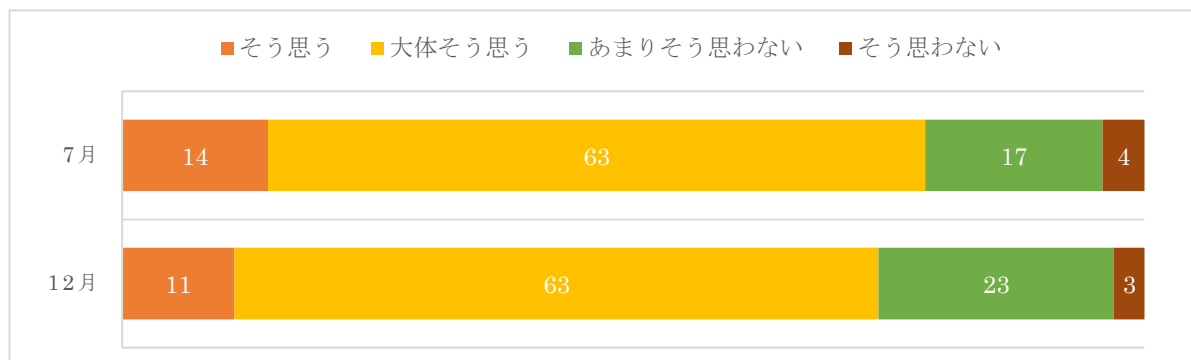


昨年度から2年間にわたる研究で、特に今年度は、「つきたい力」のつながりを意識して、授業改善に取り組んできました。

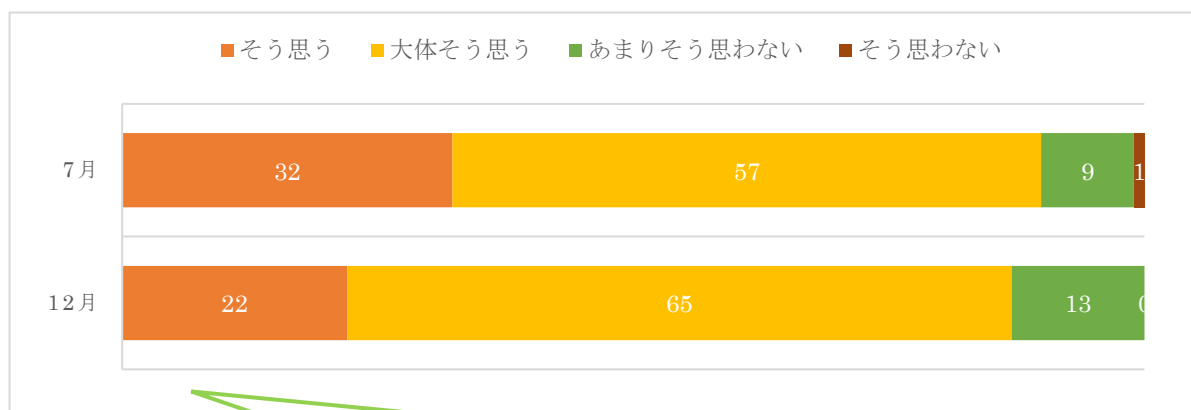
生徒の皆さんのうち88%が授業を「わかりやすい」と考えており、その上で85%が「知識の関連付け」「理解や考えの深まり」「創造」について「できた」と自信を持って答えてくれました。

このことは、今年度の成果の現れだと思っています。

保護者「子どもは授業が分かりやすいと感じている。」



保護者「便りやホームページ等で学校の様子がよく分かる。」



保護者の皆さんに来校いただける機会がほとんどなかった今年度、学校や授業の様子は、学校だよりやホームページ、生徒の皆さんからしかお伝えするしかありませんでした。

今後、この感染がどうなっていくのか見通しは全くありませんが、前期よりも後期の方がやや厳しいご意見が多かったことは謙虚に受け止めています。

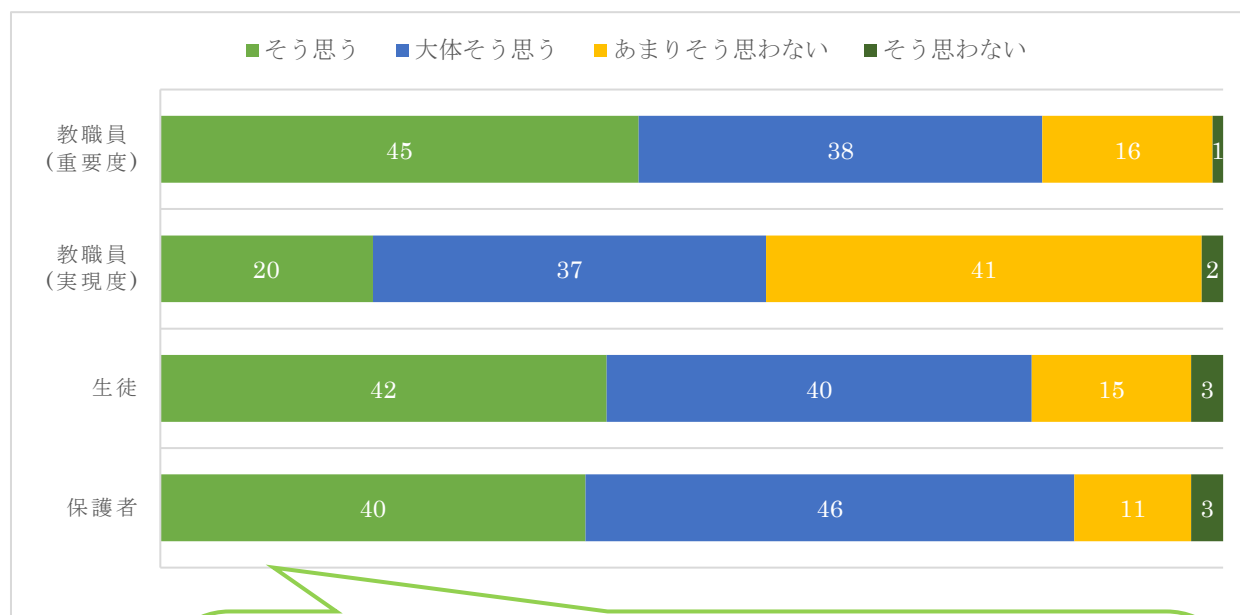
さらに学校の様子を知っていただけるよう、紙面の工夫や発信の努力を継続して行いたいと思います。

教職員「ICT 機器を活用した授業づくりは重要であると思う。」

教職員「ICT 機器を活用した授業づくりができています。」

生徒「授業中、さらにタブレット活用の機会が増えると良いと思う。」

保護者「今後、子どもが学校で PC やタブレット、スマホ等を活用することを前向きにとらえている。」

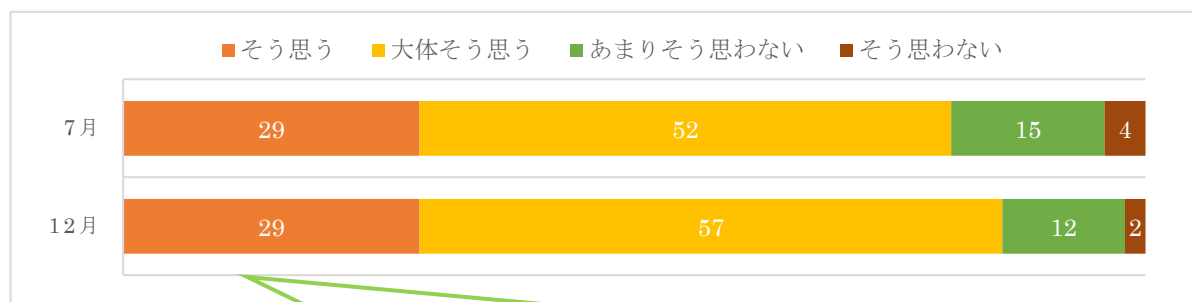


授業での活用にとどまらず、学級閉鎖や自宅待機中のオンライン授業も、急遽配信することになりました。

アンケート実施時点は、感染拡大状況がやや落ち着いていた時期だったため、現在はまた少し違う結果が出るかもしれませんが、生徒、保護者、教職員ともに8割以上はICT機器の活用を前向きにとらえているという結果でした。

ただ、実際に配信する側の実感としては4割以上の先生が「あまりできていない」という感想をもっています。今後、配信の仕方や内容に関する研修をさらに重ねる必要があると考えています。

保護者「PC やスマホ等の使い方のルールを家庭で決めている。」



使い方のルールを決めるご家庭が微増しています。

今後 ICT 活用を進める上で、大きな後押しになります。よろしくお願いします。